



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

# 川崎市総合計画 第2期実施計画 について

- (株) 野村資本市場研究所 研究部 主任研究員
- S M B C日興証券 (株)  
金融経済調査部 担当部長・金融財政アナリスト
- 川崎市長

江夏 あかね 氏

末澤 豪謙 氏

福田 紀彦

川崎市IR説明会 パネルディスカッション

# 「川崎市総合計画」について



Colors, Future!  
いろいろって、未来。  
川崎市

## 総合計画とは

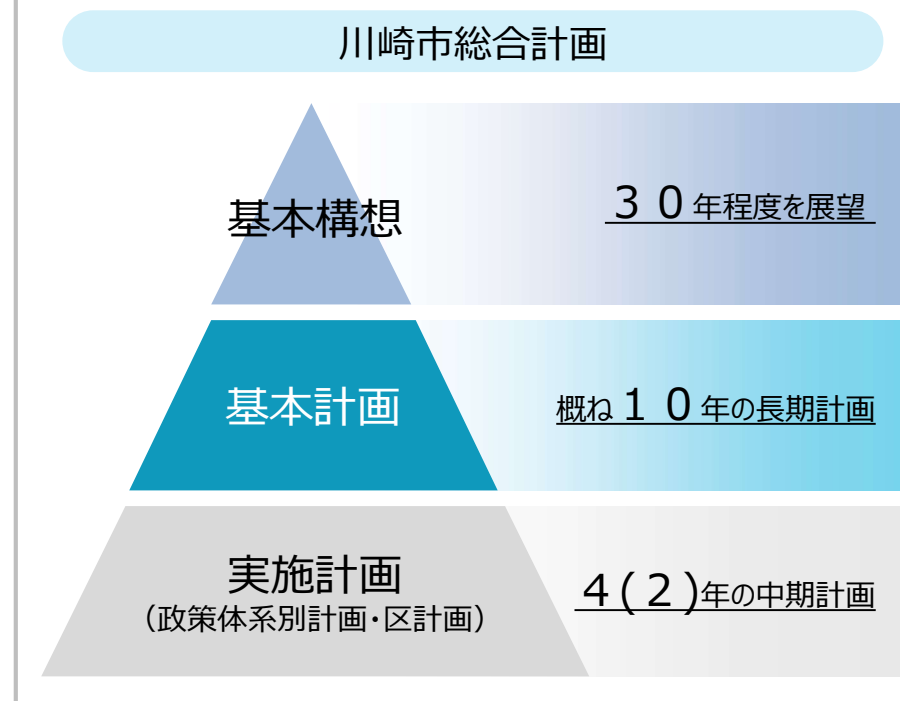
- 我が国は、急速な少子高齢化や人口減少、さらには自然災害の備えなど、避けることのできない重い課題が山積している
- 「最幸のまち かわさき」を実現し、将来もそうあり続けるため、多様化する課題への的確な対応など、計画的な行財政運営が必要であるため「川崎市総合計画」を策定



## めざす都市像とまちづくりの基本目標

- **めざす都市像**  
「成長と成熟の調和による持続可能な最幸のまち かわさき」
- **まちづくりの基本目標**  
「安心のふるさとづくり」「力強い産業都市づくり」
- **基本政策**  
「生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり」  
「子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり」  
「市民生活を豊かにする環境づくり」  
「活力と魅力あふれる力強い都市づくり」  
「誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり」

## 川崎市総合計画の構成及び計画期間について



# 安心のふるさとづくり（成熟） 待機児童対策の継続的な推進

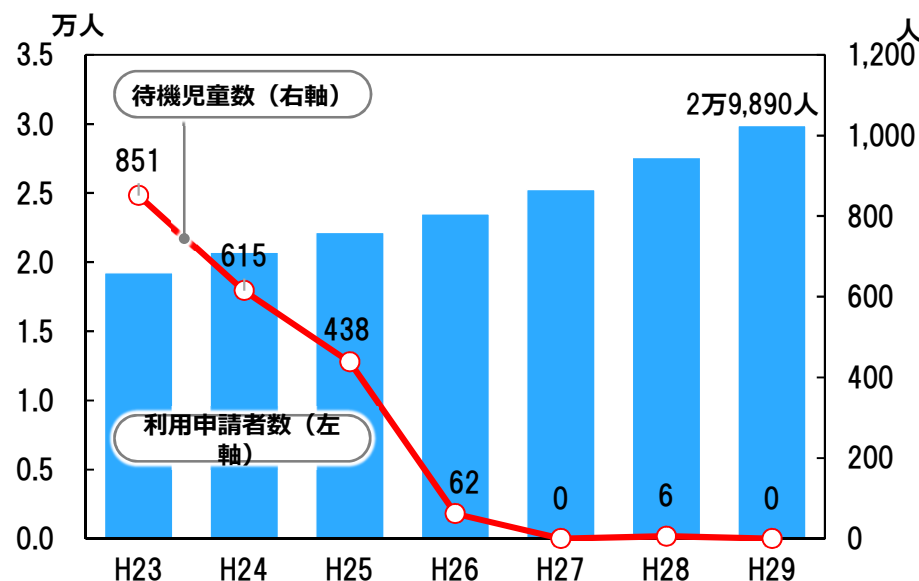
## これまでの取組

### 平成27年4月には待機児童解消を達成

- 「待機児童ゼロ対策推進本部」の設置（平成25年12月）
- 待機児童解消を達成（平成27年4月）
- 若い子育て世帯の流入等により申請数が過去最大を更新する中、保育受入枠の拡充等を継続して推進（平成28年度の受入枠拡充数：1,847人の増）

- 待機児童解消を再度達成（平成29年4月）

### 利用申請者数等の推移（4月時点）



## 平成30年度中の取組

### 待機児童解消に向けた取組の継続

#### 保育受入枠の拡充

- 認可保育所等の整備の推進（2,011人分の受入枠の増）
- 川崎認定保育園や幼稚園等の既存資源も積極活用

#### 区役所におけるきめ細やかな相談・支援

- 利用者支援のさらなる充実
  - 平日夜間・土曜日の窓口開設
  - ガイドブック等の区独自の広報物の作成と活用 等

#### 保育の質の維持・向上

- 地域の公立保育所を拠点とした包括的な人材育成
- 積極的な保育人材の確保

#### 横浜市との待機児童対策の連携

- 政令市間で全国初となる協定締結
  - 保育所共同整備の検討
  - 両市保育施設の相互利用の促進 等



「子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり」を目指し、待機児童解消に向けた取組を継続

# 安心のふるさとづくり（成熟）

## 川崎らしい 地域包括ケアシステムの構築に向けて

### 地域包括ケアシステムとは

- 地域の実情に応じて、「医療・介護・福祉・予防・住まい・生活支援」等が切れ目なく一体的に提供される体制のこと
- これを実現するためには、自分自身のケア（自助）、みんなの支え合い（互助）、社会保険制度（共助）、行政サービス（公助）による取組が必要
- こうした取り組みは、住民をはじめ、事業者や町内会・自治会などの地域組織、ボランティア団体、行政などが、一体となって、地域全体で推進していくことが重要

### 地域包括ケアシステムイメージ図



### 川崎市の目指す地域包括ケアシステム

誰もが住み慣れた地域や  
自らが望む場で安心して  
暮らし続けられる地域の実現

### 対象者

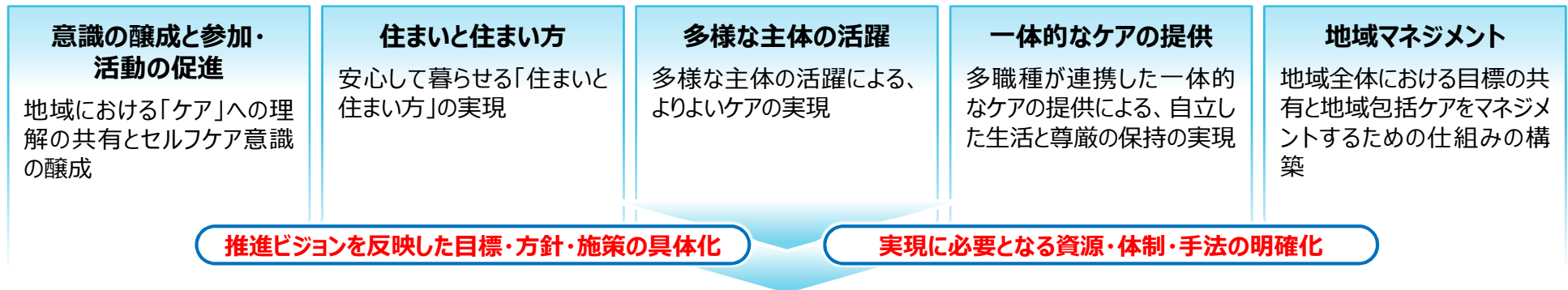
高齢者、障害者、子ども、子育て中の親、現時点でケアの必要がない方など、**全ての地域住民**を対象とする。

### 川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン ～一生住み続けたい最幸のまち・川崎をめざして～

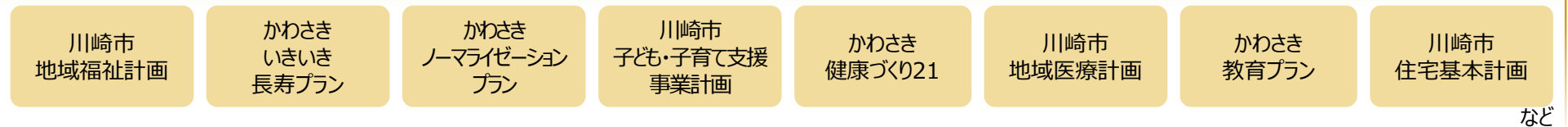
#### 基本理念

- 川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムの構築による誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域の実現

#### 基本的な視点



#### 関連計画



#### 地域包括ケアシステムの構築に向けた具体的な取組

##### 地域みまもり支援センターの設置（平成28年4月）

- 各区役所内に地域みまもり支援センターを設置。生活課題への対応や地域のネットワークの構築など「個別支援の強化」と「地域力の向上」を図る。

##### 保健医療福祉分野における事業計画の改定（平成29年度）

- 地域福祉計画や保健医療プラン、いきいき長寿プラン、など保健・医療・福祉分野における事業計画の改定に合わせ、推進ビジョンの考え方を反映。

##### 推進ビジョンにおける第2段階の取組（平成30年度から）

- 地域包括ケアシステム連絡協議会を拡大し、会員の主体的な取組の活性化を図るとともに、住民主体の地域課題解決に向けた仕組みづくりを支援する。

# 安心のふるさとづくり（成熟） かわさきパラムーブメント

## かわさきパラムーブメントについて

- 東京2020オリンピック・パラリンピック大会を契機として誰もが自分らしく暮らし、社会参加ができる地域づくりを目指して、多様な主体と一緒に取り組む運動を推進しています。

それが「かわさきパラムーブメント」です。

### かわさきパラムーブメントが目指すべきもの

#### 「誰もが自分らしく暮らし、自己実現を目指せる地域づくり」

障害、年齢、人種、LGBTなどの個性をチャンスと捉え、新たな価値を創造していくというビジョンを市民全員が共有し、主体的に行動することを促しています。

### かわさきパラムーブメントの理念

「人々の意識や社会環境のバリアを取り除き、

**誰もが社会参加できる環境を創出すること」**

多様性（ダイバーシティ）と社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）の象徴としてのパラリンピックに重点を置いた取組により、多様な主体と一緒にムーブメントを創りだしていきます。

## 「かわさきパラムーブメント」における9つのレガシー

### 多様性と社会的包摂に関するレガシー

- ①多様性を尊重する社会をつくる子どもを育むまち
- ②心理的バリアが解消されたまち  
～心のバリアフリー～
- ③社会的バリアが解消されたまち  
～ユニバーサルなまち～
- ④誰もがスポーツ・運動に親しんでいるまち
- ⑤誰もが文化芸術に親しんでいるまち
- ⑥多様な主体が地域づくりに貢献しているまち
- ⑦誰もが職業等を通じて社会参加できる環境

### 川崎のブランド力に関するレガシー

- ⑧来訪者が「行ってよかった」と思えるまち
- ⑨知名度・プレゼンスが高まった川崎

めざせ！やさしさ日本代表！

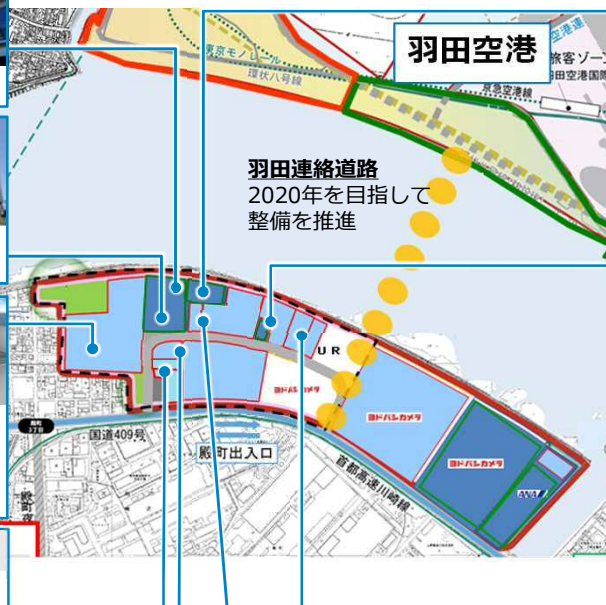
みんなの違いを活かせるチーム。  
障がい、年齢、人種やLGBT  
いろんな個性をチャンスにしよう。  
川崎らしく、力強く。  
未来を変えていく力は  
私たちの中にある。



かわさきパラムーブメント

# 力強い産業都市づくり（成長） KING SKYFRONTにおける国際戦略拠点の形成

羽田空港の対岸に位置する「KING SKYFRONT」（約40ha）を中核として革新的医薬品・医療機器の開発・製造と健康関連産業の創出をめざす



**1 川崎生命科学・環境研究センター (LiSE)**  
平成25年3月 運営開始

- 川崎市の研究機関のほか、民間企業等が入居する複合施設

**2 実験動物中央研究所**  
平成23年7月 運営開始

- 再生医療による脊髄損傷やアルツハイマー治療などの先端医療の実現を目指す

**3 大和ハウス工業 (株)**  
平成27年度から複数の工区に分けて順次着工予定

- 研究活動を活性化する交流促進機能、生活便利・リフレッシュ機能
- 「川崎キングスカイフロント東急REIホテル」が平成30年6月開業予定
- 同地区内のResearch Gate Building Tonomachi2 (RGB2) に慶應大殿町タウンキャンパス (LiSEから移転) や東京工業大などが入居

**4 JSR (株)** 平成29年1月 進出決定

- 診断試薬やバイオプロセス材料の開発・製造・販売等

**5 川澄化学工業 (株)** 平成29年1月 進出決定

- 医薬品、医療機器の開発・製造・販売

**6 クリエイトメディック (株)**  
平成28年6月 運営開始

- 人体への適合性の優れたシリコン製を中心とする医療用の細管「カテーテル」の研究および開発

**7 国立医薬品食品衛生研究所**  
平成30年2月 運営開始

- 医薬品、食品等の品質、安全性並びに有効性の評価に関する試験・研究を実施
- 地方衛生研究所や検疫所に技術指導を行うほか、世界各地からの研究者の受入、研修等を実施

**13 富士フィルムRIファーマ (株)**  
平成29年度 運営開始

- 放射性・非放射性医薬品及び放射性標識化合物の研究、開発、製造、販売、輸出、輸入

**14 CYBERDYNE (サイバーダイン) (株)**  
平成26年10月 進出決定

- 医療・介護福祉機器等の研究開発・製造・販売等

**8 ナノ医療イノベーションセンター (iCONM)**  
平成27年4月 運営開始

- 京浜臨海部のものづくり企業群、羽田空港との近接性や特区制度の活用により、ナノ医療技術の国内外ネットワークのハブを構築
- 医療的・産業的インパクトの大きい3領域 (医薬品、診断・治療機器、再生医療支援) において、ナノ医療技術の実用化に向けた研究を実施

**9 ジョンソン・エンド・ジョンソン (株) 東京サイエンスセンター**  
平成26年8月 運営開始

- 高度医療機器の安全使用のための医師向けの研修を実施
- 開発中の医療機器の評価試験を実施

**10 (公社) 日本アイソトープ協会**  
平成29年6月 運営開始

- アイソトープ製品の試験・研究開発、供給関連業務、普及啓発等

**11 ライフイノベーションセンター**  
平成28年4月 運営開始

- 再生・細胞医療分野を中心に研究開発から製品・商品化まで幅広く事業展開が可能な施設

**12 ペプチドリーム(株)**  
平成29年8月 運営開始

- 独自の創業開発プラットフォームシステム：PDPSを用いた「特殊ペプチド」による創業研究開発の拠点

**国家戦略特別区域に「東京圏」として指定**

- 世界から資金・人材・企業等を集める国際的ビジネス拠点・イノベーション拠点を形成するため、神奈川県、横浜市、川崎市が共同で取組
- 平成26年5月1日指定



### 多様な主体とともにイノベーション創出を目指す 拠点マネジメントの実施

- 拠点の活動を通じて、イノベーションや産業波及を生み出し、地域の産業振興への効果につなげる。

### リサーチコンプレックス推進プログラムに殿町拠点が 本採択（平成28年9月）

- マネジメントの実施にあたり、本プログラムを活用し、融合研究、事業化支援、人材育成等を一体的に実施

### 融合研究が展開

- 「再生医療」×「ロボット」による新たな脊髄損傷治療の開発
- 「創薬」×「IT」による革新的な医薬品の創出
- 「介護医療」×「データサイエンス」による要介護要因の解明

など

### 事業化支援を推進

- シーズ、ニーズマッチング  
様々な人材が出会い、交流する場の設定 など

### 新たに人材育成機能が立地



### 市内を実証フィールドとして融合研究を促進 ～高齢者コホート調査を開催～

- 市内在住**85歳から89歳までの自立した高齢者1,000名を対象**に、世界屈指の規模となる**都市型の健康調査**を実施
- 地域に根差した調査により、**高齢者の要介護に至る要因を分析し、高齢者の生活の質の向上や健康寿命の延伸に貢献**
- 調査データを活用し、新事業の展開も目指す。

### 多様な主体の出会いの場の創出 ～「Tonomachi Cafe」(小人数研究会)の開催～

- 殿町で展開される研究テーマを軸に、研究者、中小企業などが、定期的に研究連携・交流



### キングスカイフロントにおける国際戦略拠点にふさわしい高機能な拠点整備

- 平成32年度の羽田連絡道路完成に合わせ、快適な研究環境、国内外からの来訪者の利便性向上、地域の安全対策、良好な景観形成など、キングスカイフロントの魅力や価値を高める取組を推進

#### 目標とする整備・機能導入のイメージ

##### 交流・賑わい促進



公園と隣接ホテル等の一体的な整備・活用など

##### 来訪者の利便性向上



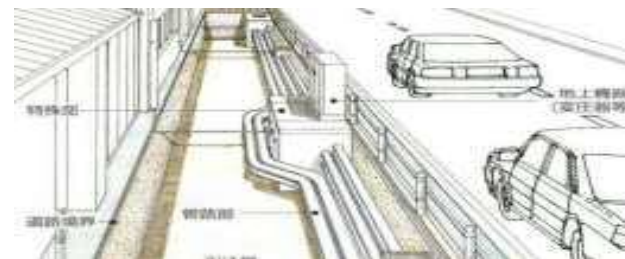
案内サインの整備による情報提供の充実など

##### 多摩川の水辺の活用



多摩川・空港を展望できる交流・憩いの場を創出

##### 景観向上・安全対策



電線類地中化による景観向上や防災対策

##### 生活機能の導入

カフェ・レストラン、コンビニなどの飲食機能を導入

##### 交通アクセスの強化

バス路線導入、新設など交通アクセスの強化

# 力強い産業都市づくり（成長） 羽田連絡道路の整備

## 川崎市殿町地区と羽田空港跡地地区を結ぶ新しい橋の整備に着手

- 羽田空港周辺地域及び京浜臨海部の連携を強化し、成長戦略拠点の形成を図るため、キングスカイフロントと羽田空港を結ぶ、羽田連絡道路の整備を実施
- 平成29年1月24日、川崎市及び東京都が都市計画事業認可を取得
- 平成29年7月に工事契約、工事期間は平成29年度～平成32年度

工事前の写真



現在の写真（平成30年3月）



完成イメージ図





# 臨海部ビジョン ～新産業拠点の形成～ (第1層)

高度かつ最先端の研究開発と価値の創出を行うエリア

- ◆南渡田地区における、AIやIoT等をはじめとする研究開発及び社会実装を行う新産業創出の拠点化
- ◆拠点間の相乗効果の創出
- ◆大規模な土地利用転換を踏まえた新たな価値の創出

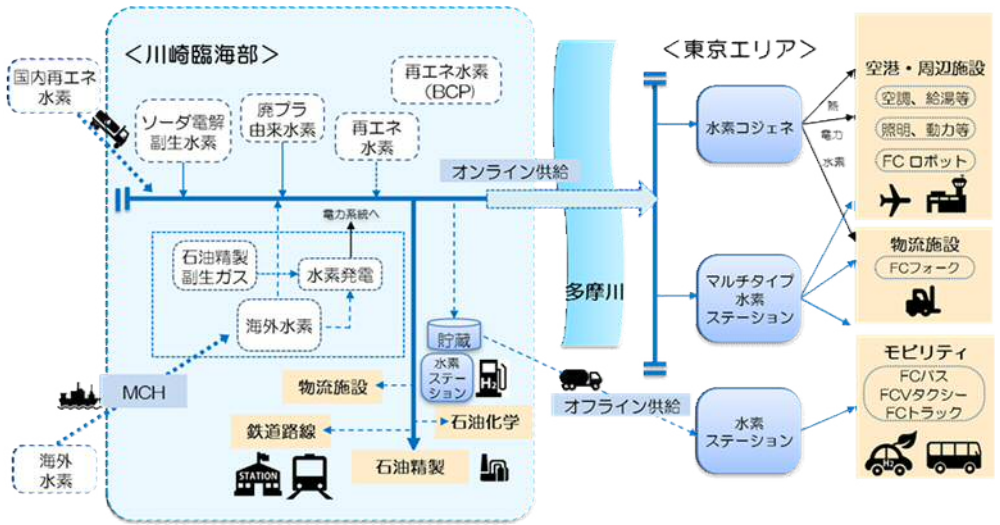


### 高付加価値な生産、世界最高レベルのエネルギーバランスを実現するエリア

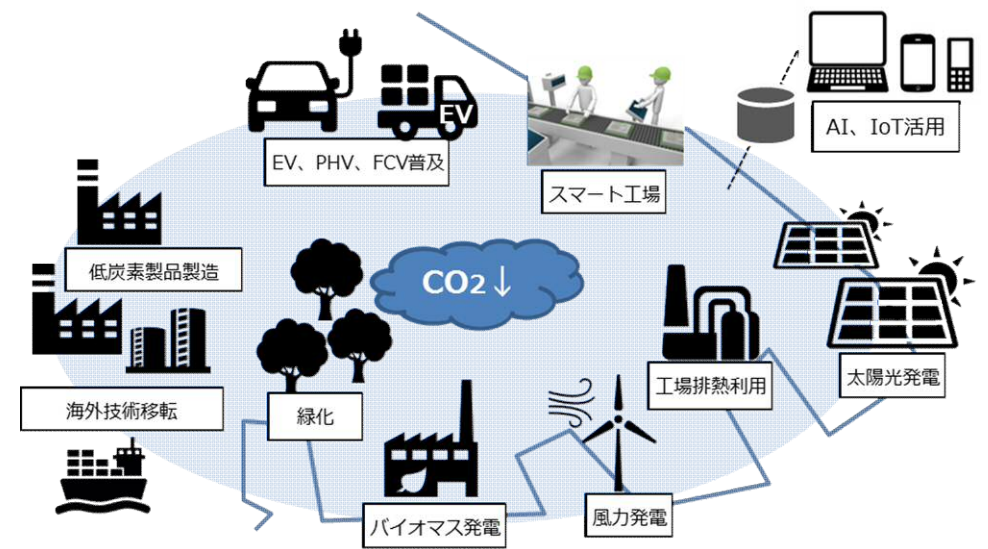
- ◆設備の老朽化解消や資産の有効活用、新たな設備投資促進等を通じ、企業の産業競争力強化を促進
- ◆水素を活用したクリーンなエネルギーが利用できる地域の形成
- ◆臨海部の産業集積を活かして環境課題を解決していくモデル地域を形成

- 設備の老朽化を解消
- 新たな設備投資を促進
- 土地の最適利用を促進
- 資産の有効活用を促進

- 臨海部第2層は、設備の老朽化が進行
- 一部で低未利用な土地や設備が発生



水素エネルギー利用促進プロジェクト



低炭素型インダストリーエリア構築プロジェクト

# 臨海部ビジョン ～港湾物流機能の強化～(第3層)

## 効率的かつ高機能な物流エリア

### ◆首都圏を支える物流機能の強化



港湾物流機能強化プロジェクト